

品質保証活動

基本的な考え方

品質は、太陽誘電がお客様との信頼関係を築くための最も重要な基盤の一つです。高品質な製品を安定的に提供し続けることは、当社グループの競争力の源泉であり、社会に対する責任です。設計、調達、製造、出荷、納入後の各プロセスにおいて品質をつくり込み、継続的に高めていくことで、全社一体で品質保証活動を推進しています。

品質保証活動

[品質保証活動](#) | [社会\(S\)](#) | [サステナビリティ](#)

品質保証活動の推進

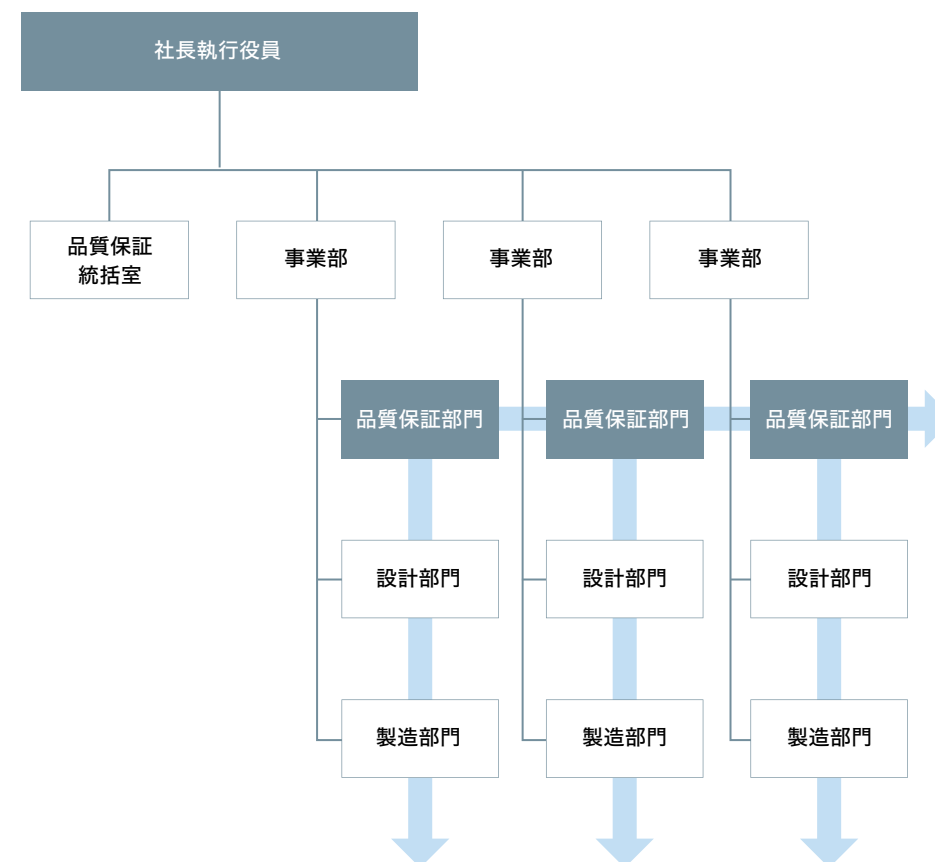


設計・開発	顧客要求や用途を踏まえた品質条件を明確化し、開発段階からリスクを織り込んだ設計・検証を行うことで、量産後の不具合発生を抑制しています。
調達	原材料、部品、設備、外部委託先を含むサプライチェーン全体に対して、品質、納期、供給安定性を総合的に評価・管理しています。
製造・出荷	標準作業の徹底、工程能力の維持向上、異常の早期検知、トレーサビリティの確保により、製品品質のばらつきを抑制しています。出荷前検査や各種品質確認を通じて、顧客にお届けする製品が要求事項を満たしていることを確認しています。
納入後・予防	万一不具合や問い合わせが発生した場合は、速やかに原因解析と是正処置を行い、関係部門へ水平展開し再発を防止します。更に、品質情報の傾向分析から重点課題を抽出し問題が顕在化する前に予防的な対応を講じる活動も強化しています。

推進体制

各事業部に品質保証部門を配して、国内外の生産拠点を統括管理する縦の管理体制に加え、品質統括部門が全事業部を横断的に監督する横の管理体制を構築し、事業部間の緊密な情報連携を実現しています。

社内外から収集した品質情報は、適正に分析し、品質事故の未然防止や再発防止・水平展開に活用しています。また重要度の高い品質情報は迅速かつ正確に経営トップに伝達され、即座に経営判断を下せる体制を整えています。



教育・監査・改善の継続

品質保証活動の高度化には、仕組みの整備に加えて、従業員一人ひとりの意識と行動の定着が不可欠です。当社グループでは、品質に関する教育を継続的に実施し、品質意識の向上、標準順守の徹底、異常の再発防止の強化に努めています。



経営層およびマネジメント層を対象に、毎年品質講演会を開催

更に、内部監査や工程監査を通じて、運用状況を定期的に確認し、改善課題を抽出して是正および高い倫理観と透明性を持った組織風土の醸成につなげています。

また、品質不具合やヒヤリハット、顧客からの指摘事項などを貴重な学習機会と捉え、原因の分析結果や再発防止策を社内に共有しています。こうした改善の積み重ねにより、品質に関する知見を「組織知」として蓄積し、将来のリスク低減につなげています。

これらの継続的な取り組みにより、2025年度における重大な製品事故および重大な法令違反（製品安全関連）の発生件数は0件を維持しています。

製品安全に関する規制および自主的規範の順守状況

指標	目標	実績		
		2023年度	2024年度	2025年度
重大製品事故件数※1	0件	0件	0件	0件
重大法令違反発生件数※2	0件	0件	0件	0件

※1 一般消費者の生命、身体に対して危害が重大であるものの発生件数（死亡、重傷病、後遺障害、一酸化炭素中毒、火災など）
※2 製品安全に関連する、外部への発表を要する重大な法令違反の発生件数

今後の取り組み

太陽誘電では、引き続き製品の高機能化・高密度化、サプライチェーンの複雑化、地政学的リスクの高まりなど、事業環境の変化に対応しながら、品質保証活動の高度化を進めていきます。とりわけ、データ活用による予兆管理、グローバル拠点間の品質情報連携、重要購入先との協働強化を通じて、より予防的で実効性の高い品質マネジメント体制を構築していきます。

私たちは、品質を競争力の源泉であると同時に、社会からの信頼を支える基盤と捉え、これからも品質保証活動の継続的な高度化に取り組み、世界中のお客様から「信頼され選ばれ続ける企業グループ」を目指してまいります。